

2024年1月26日

### 2024年1～3月期 静岡県内主要産業四半期見通し調査

## 県内産業景気の回復の足どりは一段と鈍化

静岡経済研究所（理事長 馬瀬和人）では、12月に実施した「静岡県内主要産業四半期見通し調査」の結果をとりまとめましたので、その内容をお知らせします。

#### 現況

- 県内産業の現況（2023年10～12月期）は、『順調』が「自動車部品」「情報サービス」の2業種、『普通』が「製紙」「食品・飲料」「工作機械」「民生用電器部品」「二輪車部品」「建設」「大型小売店」「自動車販売」「物流」「人材派遣」「観光・レジャー」「外食」の12業種となった。
- 『低調』は「住宅」の1業種で、『好調』および『不調』の業種はなかった。

#### 今後の見通し

- 2024年1～3月期の見通しについては、引き続き『好調』と『不調』の業種はなく、「建設」が『普通』から一段階上昇して『順調』となるため、『順調』が3業種、『普通』が11業種、『低調』は1業種となる見通し。
- 昨年5月のコロナ5類移行以後、経済活動の正常化とともに回復基調が続いてきた本県の産業景気だが、物価高やエネルギー価格の高止まりが消費マインドに悪影響を及ぼしているほか、海外情勢の先行き懸念や元日に発生した能登半島地震も心理的不安感を与えている。
- 多くの業種で人手不足が深刻化する中、個々の企業においては売上拡大に向けた道筋を見つけづらく、県内産業景気の回復の足どりは一段と鈍化しそうである。

業種	業界天気 現況 (10-12月)	見通し (1-3月)
製紙	 → 	
食品・飲料	 → 	
工作機械	 → 	
民生用電器部品	 → 	
自動車部品	 → 	
二輪車部品	 → 	
建設	 → 	
住宅	 → 	
大型小売店	 → 	
自動車販売	 → 	
物流	 → 	
情報サービス	 → 	
人材派遣	 → 	
観光・レジャー	 → 	
外食	 → 	

※本件のお問合せ先 主任研究員 大石 彰男

〈2月の記者発表予告〉下記の調査について記者発表を予定しています

「静岡県版 景気ウォッチャー調査（2024年1月）」

## 県内産業景気の回復の足どりは一段と鈍化

### 業界景気の現況（2023年10～12月期）

県内産業の現況（2023年10～12月期）は、『順調』が「自動車部品」「情報サービス」の2業種、『普通』が「製紙」「食品・飲料」「工作機械」「民生用電器部品」「二輪車部品」「建設」「大型小売店」「自動車販売」「物流」「人材派遣」「観光・レジャー」「外食」の12業種、『低調』が「住宅」の1業種で、『好調』および『不調』の業種はなかった。

### 業界景気の見通し（2024年1～3月期）

1～3月期の見通しについては、引き続き『好調』と『不調』の業種はなく、「建設」が『普通』から一段階上昇して『順調』となるため、『順調』が3業種、『普通』が11業種、『低調』は1業種となる見通し。昨年5月のコロナ5類移行以後、経済活動の正常化とともに回復基調が続いてきた本県の産業景気だが、物価高やエネルギー価格の高止まりが消費マインドに悪影響を及ぼしているほか、海外情勢の先行き懸念や元日に発生した能登半島地震も心理的不安感を与えている。多くの業種で人手不足が深刻化する中、個々の企業においては売上拡大に向けた道筋を見つけづらく、県内産業景気回復の足どりは一段と鈍化しそうである。

業種ごとにみると、製造業では、本県の主力産業である「自動車部品」が『順調』を維持。昨年末のダイハツ不正問題による生産停止の影響は、県内では限定的とみられる。一方、海外景気の減速で内外需とも前年割れが続くが一定水準は確保する「工作機械」、省エネ機種への更新需要で前年並みの出荷台数が見込まれる「民生用電器部品」、大型車を中心とした需要が底堅いものの高水準だった前年実績には及ばない「二輪車部品」は『普通』のまま推移する見込み。また、価格改定で収益面の改善傾向がみられる「製紙」、暖冬の影響で飲料需要は弱含むものの、防災意識の高まりで缶詰などの需要増が見込まれる「食品・飲料」も『普通』を維持するとみられる。

非製造業では、災害復旧工事など国土強靱化関連のほか、製造業を中心に生産能力強化に向けた設備投資が見込まれる「建設」が『普通』から『順調』に一段階上昇。また、官民の旺盛なデジタル化需要のもと「情報サービス」も引き続き『順調』を維持する見通し。節約志向の広がり販売数量は低迷するも、単価の上昇で総販売額は横ばいと予想される「大型小売店」、電気機械や食品関連で堅調な荷動きが期待される「物流」、インバウンド需要の回復に伴い観光・小売関連需要がけん引する「人材派遣」、浜名湖花博など花関連イベントの集客に期待がかかる「観光・レジャー」、昨年からの値上げ効果や来客数の回復で売上増が見込まれる「外食」は、『普通』のまま推移する。「自動車販売」も、ダイハツの生産・出荷停止の影響で販売台数の落込みが予想されるものの需要自体は底堅く『普通』を維持する見込み。また、長引く物価高の影響で消費者の購入マインドが上向かず持家需要の低迷が続く「住宅」は、『低調』のまま推移するとみられる。

2024年1～3月期 静岡県内主要産業四半期見通し調査一覧表

業種	業界天気		売上高 (前年同期比伸び率)	主要産業の見通し
	現況 (10-12月)	見通し (1-3月)		
製紙		→ 	→	収益面は改善傾向にあるも、需要は停滞気味
食品・飲料		→ 	➔	防災意識の高まりで、売上高は前年実績を上回る見通し
工作機械		→ 	➡	海外景気の減速で、内外需ともに前年割れ続くが一定水準は確保
民生用電器部品		→ 	→	底堅い省エネ機種への更新需要で、出荷台数は前年並みの見通し
自動車部品		→ 	→	ダイハツの認証不正問題による県内部品メーカーへの影響は限定的
二輪車部品		→ 	➡	需要は底堅いが、生産台数は高水準だった前年に比べ微減
建設		→ 	➔	国土強靱化関連の受注や民間企業の設備投資が続き好調
住宅		→ 	➔	高層マンション着工で分譲は伸長するも、持家需要は低迷続く
大型小売店		→ 	→	節約志向の広がりで販売数量は低迷も単価は上昇、販売額は横ばい
自動車販売		→ 	➡	メーカーの認証不正問題で販売台数△1～2割減も、需要は堅調
物流		→ 	→	トラック輸送量は前年並み、電気機械や食品関連で安定した荷動き
情報サービス		→ 	➔	売上高は拡大基調だが、原価高騰による収益圧迫が懸念材料
人材派遣		→ 	→	観光・小売関連がけん引、需要は底堅く推移
観光・レジャー		→ 	➔	国内旅行需要は堅調、花関連のイベントでの集客に期待
外食		→ 	➔	客単価の上昇に加え歓送迎会需要の復活で、売上高は前年比増

表の見方

業界天気				売上高	
	好調		低調	➡	非常に増加(+10%以上)
	順調		不調	➔	増加(+3～+9%)
	普通			→	横ばい(+2～△2%)
				➡	減少(△3～△9%)
				➡	非常に減少(△10%以上)

静岡県内主要産業四半期見通し調査「現況」推移

年次	2021年				2022年				2023年				
四半期	I	II	III	IV	I	II	III	IV	I	II	III	IV (今回調査)	
対象月 (○は調査月)	1~③	4~⑥	7~⑨	10~⑫	1~③	4~⑥	7~⑨	10~⑫	1~③	4~⑥	7~⑨	10~⑫	
全業種の平均階級値	2.47	2.53	2.40	2.60	2.67	2.53	2.80	2.93	2.93	3.00	3.13	3.07	
好調：5													
順調：4													
普通：3													
低調：2													
不調：1													
業種数	好調 ☀️	0	0	0	1	1	1	1	1	0	0	0	0
	順調 ☁️	2	3	2	1	2	1	2	2	3	4	3	2
	普通 ☁️	5	4	4	5	3	3	5	7	8	7	11	12
	低調 ☁️	6	6	7	7	9	10	7	5	4	4	1	1
	不調 ☁️	2	2	2	1	0	0	0	0	0	0	0	0

注1) 「業界景気の現況」および「業界景気の見通し」は、対象企業経営者が業界景気動向をどうみているかを調査したもの。調査は、毎年3、6、9、12月に実施。「業界景気の現況」とは、調査時点(12月調査であれば10～12月期)における業況、「業界景気の見通し」とは、調査時点における翌期(12月調査であれば翌年1～3月期)の見通しを示す。

注2) 調査方法は、アンケート調査とヒアリング調査による。アンケート調査の概要は以下の通り。  
 調査時点…2023年12月上旬  
 回答企業…県内主要15業種(166社)

注3) 平均階級値は、好調：5、順調：4、普通：3、低調：2、不調：1とする、15業種の平均値。

各業種および表の見方

### 製紙

収益面は改善傾向にあるも、需要は停滞気味

【現況】  
☁️

↓

【見通し】  
☁️

【1-3月期売上高】  
前年同期比 10-12月期比

→      ←

**現況**

【10-12月期】家庭紙の生産量は、前年をやや下回った模様。主力の出機会の増え、ボール原紙の出機会の増えがあったが、節約志向の高まりで、全体的に荷動きは低調だった。

**見通し**

【1-3月期】家庭紙の生産量は前年並みで推移する見通し。収益面は改善傾向にあるものの、燃料価格は高止まりしており、価格改定に向けた交渉による買入控えや、需要を下支えしてきた巣ごもり需要の弱く落で、生産量は前年水準を割り込むとみられる。

国内紙・板紙生産量  
(前年比)

資料：経済産業省

操業度	需給バランス	製品在庫水準	原材料価格	製品価格	受注残
89～80%	均衡	適正	横ばい	横ばい	0.1～1.0ヵ月

操業度	需給バランス	製品在庫水準	原材料価格	製品価格	受注残
90%以上	非常に需要超過	非常に過少	非常に上昇	非常に上昇	ヵ月
89～80%	需要超過	過少	上昇	上昇	
79～70%	均衡	適正	横ばい	横ばい	
69～60%	供給超過	過多	下降	下降	
59%以下	非常に供給超過	非常に過多	非常に下降	非常に下降	

# 主要業種景況見通し

## 製紙 収益面は改善傾向にあるも、需要は停滞気味

**【現況】**



↓

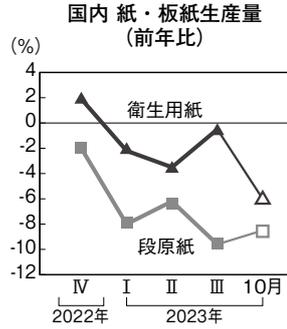
**【見通し】**



**【10-12月期】** 家庭紙の生産量は、前年をやや下回った模様。主力のトイレ紙は、業務用は堅調だったものの、外出機会の増加もあって、家庭用は低調に推移した。段ボール原紙は、通販・宅配向けなどは底堅かったが、節約志向の高まりで、全体的に荷動きは低調だった。

**【1-3月期】** 家庭紙の生産量は前年並みで推移する見通し。収益面は改善傾向にあるものの、原燃料価格は高止まりしており、メーカー各社はもう一段の価格改定に向けた交渉を進める考え。段ボール原紙は、物価上昇による買い控えや、需要を下支えしてきた巣ごもり需要のはく落で、生産量は前年水準を割り込むとみられる。

**国内紙・板紙生産量 (前年比)**



資料：経済産業省

<b>前年同期比</b>	<b>10-12月期比</b>	<b>操業度</b>	<b>需給バランス</b>	<b>製品在庫水準</b>	<b>原材料価格</b>	<b>製品価格</b>	<b>受注残</b>
→	→	89~80%	均衡	適正	横ばい	横ばい	0.1~1.0ヵ月

## 食品・飲料/製茶 防災意識の高まりで、売上高は前年実績を上回る見通し

**【現況】**



↓

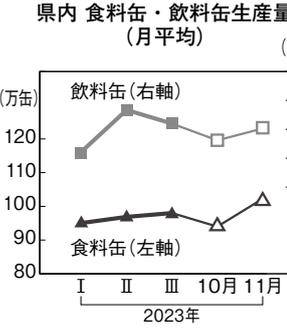
**【見通し】**



**【10-12月期】** **食品・飲料**：県内食料缶メーカーの売上高は、前年を上回った。生産量は前年を下回ったものの、価格改定により販売単価が上昇した。飲料缶類の生産量も、ブランドオーナーからの受注が堅調で前年を上回った。**製茶**：製茶問屋の売上高は、前年をやや下回った。

**【1-3月期】** **食品・飲料**：県内食料缶メーカーの売上高は、前年を上回る見通し。能登半島地震発生により防災意識が高まり、需要が上向く見込み。一方、飲料缶類の生産量は、前年をやや下回る見通し。暖冬の影響で飲料需要は弱含む模様。**製茶**：製茶問屋の売上高は、輸出向けは好調だが、量販店向けが低調で前年を下回る見通し。

**県内食料缶・飲料缶生産量 (月平均)**



資料：(一社)静岡缶詰協会

<b>前年同期比</b>	<b>10-12月期比</b>	<b>操業度</b>	<b>需給バランス</b>	<b>製品在庫水準</b>	<b>原材料価格</b>	<b>製品価格</b>	<b>受注残</b>
→	→	89~80%	均衡	適正	上昇	上昇	0.1~1.0ヵ月

## 工作機械 海外景気の減速で、内外需ともに前年割れ続くが一定水準は確保

**【現況】**



↓

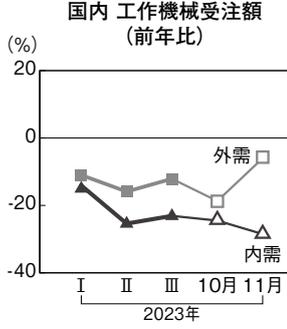
**【見通し】**



**【10-12月期】** 全国および県内の受注額は、高水準だった前年を大きく下回った。全国は、好不調の目安となる1,000億円/月を上回り底堅く推移した。県内は、主力ユーザーである自動車産業の動きが弱く、海外経済の先行き不安等も相まって、低調な受注が続いた。

**【1-3月期】** 全国および県内の受注額は、引き続き高水準だった前年を大きく下回るが、一定規模は確保する見通し。メインの外需は底を打つとみられるが、欧米の金融引き締めや中国の不動産不況などの影響が長引くことで、大幅な復調には至らない見込み。内需も、物価高や海外景気の減速を背景に、弱含んで推移する模様。

**国内工作機械受注額 (前年比)**



資料：(一社)日本工作機械工業会

<b>前年同期比</b>	<b>10-12月期比</b>	<b>操業度</b>	<b>需給バランス</b>	<b>製品在庫水準</b>	<b>原材料価格</b>	<b>製品価格</b>	<b>受注残</b>
↓	→	79~70%	均衡	適正	上昇	上昇	1.0~15.0ヵ月

## 民生用電器部品

### 底堅い省エネ機種への更新需要で、出荷台数は前年並みの見通し

【現況】



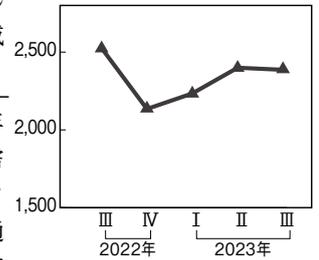
【見通し】



【10-12月期】県内の家庭用エアコンの出荷台数は、好調だった前年をやや下回った模様。国内需要は順調に推移したが、海外向けが低調だったことで前年を割り込んだ。業務用エアコンの出荷台数は、北米や欧州向けが減少したことから前年を下回った。

【1-3月期】県内の家庭用エアコンの出荷台数は、前年並みとなる見通し。省エネ性能の高い新機種への更新需要は底堅く、安定した売上が見込めそう。業務用エアコンは、海外向けの生産が減少し、前年をやや下回る見通し。冷蔵庫の出荷台数は、引き続きコロナ前の水準を確保できる見通し。

国内 家庭用電気機器出荷額 (月平均) (億円)



(年、四半期)  
資料：経済産業省

【1-3月期売上高】

前年同期比 10-12月期比

→	→
---	---

操業度	需給バランス	製品在庫水準	原材料価格	製品価格	受注残
79~70%	均衡	適正	上昇	上昇	1.0~3.0ヵ月

## 自動車部品

### ダイハツの認証不正問題による県内部品メーカーへの影響は限定的

【現況】



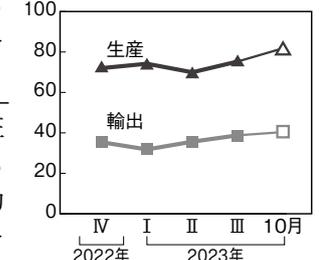
【見通し】



【10-12月期】全国の自動車生産台数は、前期に引き続き半導体など部品調達状況の改善が進み、前年実績を+1割強上回った。輸出が+1割程度増加するなど好調だったほか、国内販売も堅調に推移した。県内部品メーカーの生産量は、前年を上回って推移した模様。

【1-3月期】全国の自動車生産台数は、ダイハツの認証不正問題のあおりを受け、前年実績を△3%程度下回る見通し。ただし、県内部品メーカーへの影響は限定的で、生産量は前年並みの見通し。国内販売は3月にピークを迎えるが、半導体など調達部品の影響が残り、ダイハツ車の需要を他メーカーがすべて賄うことは難しそう。

国内 自動車生産・輸出台数 (月平均) (万台)



(年、四半期)  
資料：(一社)日本自動車工業会

【1-3月期売上高】

前年同期比 10-12月期比

→	→
---	---

操業度	需給バランス	製品在庫水準	原材料価格	製品価格	受注残
90%以上	需要超過	適正	横ばい	上昇	0.5~2.0ヵ月

## 二輪車部品

### 需要は底堅いが、生産台数は高水準だった前年に比べ微減

【現況】



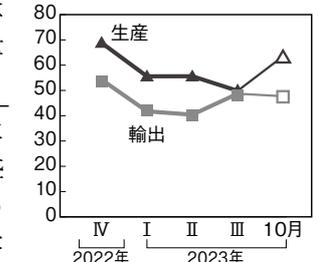
【見通し】



【10-12月期】全国の完成車生産台数は、好調だった前年をわずかに下回って推移した。大型車を中心とした国内需要は堅調に推移しているが、前年の高い生産水準には届かなかった。これを受け、県内部品メーカーの生産量も前年をわずかに下回った。

【1-3月期】全国の完成車生産台数は、前年をわずかに下回る見通し。コロナが収束し、前年までのような旺盛な需要は期待できず、大型車を中心に弱含みで推移する見込み。ただし、海外向けの新たな部品の受注に向けた動きもみられる模様。これに伴い、県内部品メーカーの生産量も前年比横ばいで推移する見通し。

国内 二輪車生産・輸出台数 (月平均) (千台)



(年、四半期)  
資料：(一社)日本自動車工業会

【1-3月期売上高】

前年同期比 10-12月期比

→	→
---	---

操業度	需給バランス	製品在庫水準	原材料価格	製品価格	受注残
79~70%	均衡	適正	上昇	横ばい	1.0~2.0ヵ月

## 建設 国土強靱化関連の受注や民間企業の設備投資が続き好調

【現況】

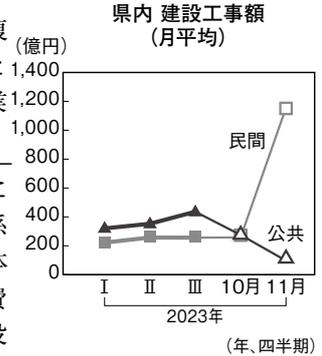


【見通し】



【10-12月期】 県内の公共工事契約高は、国関係は件数・契約高ともに前年を下回ったが、県・市町関係は災害復旧工事の安定的な発注で前年を上回り、全体では前年と同水準で推移した模様。民間の工事費予定額は、製造業で大型の設備投資があり、前年を大きく上回った。

【1-3月期】 県内の公共工事契約高は、国関係は前年に大型案件が続いた反動で前年を下回るが、県・市町関係は国土強靱化関連工事の予算消化が進むとみられ、全体では前年をやや上回って推移する見通し。民間の工事費予定額は、製造業を中心に生産能力強化に向けた設備投資が継続し、前年を上回る見通し。



資料：国土交通省、建通新聞社

【1-3月期売上高】

前年同期比 10-12月期比



操業度	需給バランス	完成工事に在庫水準	原材料価格	工事単価	受注残
90%以上	需要超過	適正	上昇	横ばい	4.0~12.0ヵ月

## 住宅 高層マンション着工で分譲は伸長するも、持家需要は低迷続く

【現況】

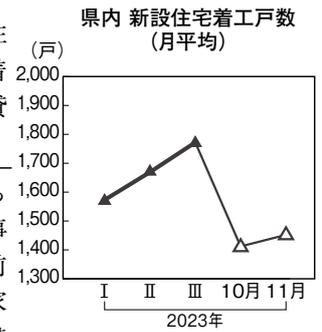


【見通し】



【10-12月期】 県内の新設住宅着工戸数は、前年実績を下回った模様。大手ハウスメーカーで、住宅販売方針が注文住宅から建売住宅にシフトする傾向にあり、持家の着工戸数は減少が続いた一方、分譲は底堅く推移した。貸家は前年実績並みとなった。

【1-3月期】 県内の新設住宅着工戸数は、前年を上回って推移する見通し。1月に三島駅南口東街区の再開発事業で高層マンションの着工が予定されており、分譲は前年を上回るほか、貸家も前年並みの見通し。ただし持家は、長引く物価高の影響や住宅価格の上昇で消費者の購入マインドが上向かず、前年をやや下回るとみられる。



資料：国土交通省

【1-3月期売上高】

前年同期比 10-12月期比



操業度	需給バランス	完成工事に在庫水準	原材料価格	工事単価	受注残
79~70%	供給超過	過多	上昇	上昇	1.0~6.0ヵ月

## 大型小売店 節約志向の広がりや販売数量は低迷も単価は上昇、販売額は横ばい

【現況】

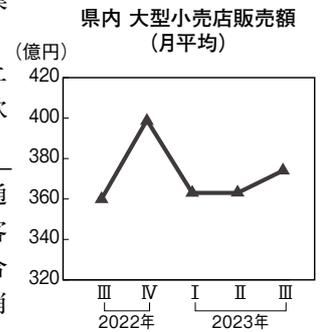


【見通し】



【10-12月期】 県内の総販売額は前年をやや上回った模様。百貨店は、コロナ5類移行後初の年末商戦を迎えて、多人数向けのおせち料理などの販売が伸び、前年をやや上回った。総合スーパーは、販売額全体の約7割を占める飲食品単価の上昇で、前年をやや上回った。

【1-3月期】 県内の総販売額は前年並みで推移する見通し。百貨店は初売商戦やバレンタイン商戦を中心に来客数の増加が見込まれ、前年実績を確保する見込み。総合スーパーは、販売単価の上昇が押し上げ要因となるが、消費者の節約志向が強まる中で販売数量の落込みは避けられそうもなく、販売額は前年並みにとどまる見通し。



資料：経済産業省

【1-3月期売上高】

前年同期比 10-12月期比



操業度	需給バランス	製品在庫水準	仕入単価	販売単価	受注残
-	均衡	-	上昇	上昇	-

## 自動車販売

### メーカーの認証不正問題で販売台数△1～2割減も、需要は堅調

【現況】



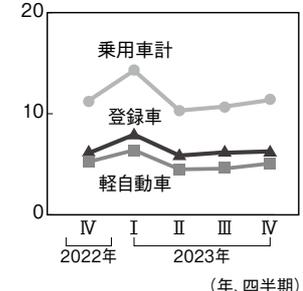
【見通し】



【10-12月期】 県内の新車販売台数は、前年比+0.5%とほぼ横ばいだった。需要は着実に回復しているが、ダイハツで認証不正問題が発覚し、OEMを含めて年内の出荷が停止となるなど影響は大きく、全体の販売台数も伸び悩んだ。

【1-3月期】 県内の新車販売台数は、前年を△1～2割下回る見通し。ダイハツは1月末まで全車種の出荷停止を決定し、3月末まで出荷できない車種が出る可能性がある。他社へのシフトも考えられるが、他メーカーも供給余力が少なく、一部は中古車に流れるとみられる。ただし、需要の多くは4月以降に持ち越される見込み。

県内 新車販売台数 (月平均)



資料：(一社)日本自動車販売協会連合会静岡県支部 (一社)全国軽自動車協会連合会静岡事務所

【1-3月期売上高】

前年同期比	10-12月期比
↓	→

操業度	需給バランス	製品在庫水準	仕入単価	販売単価	受注残
—	需要超過	過少	上昇	上昇	3.0～6.0ヵ月

## 物流

### トラック輸送量は前年並み、電気機械や食品関連で安定した荷動き

【現況】



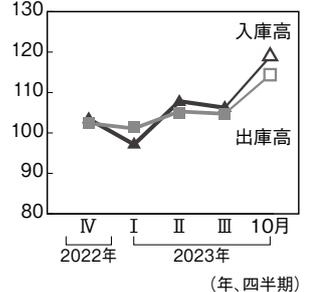
【見通し】



【10-12月期】 県内のトラック輸送量は、前年並みの水準で推移したとみられる。食料品が落ち込んだ一方、輸送用機器や紙・パルプが堅調に推移した模様。普通倉庫の入出庫高は、飲料や日用品の荷動きが堅調だったことから、前年を+5%程度上回ったとみられる。

【1-3月期】 県内のトラック輸送量は、前年並みの水準で推移する見通し。食料品や飲料などの消費関連は堅調な動きが期待されるが、輸送用機器で荷動きが弱含むと予想される。普通倉庫の入出庫高は、食料品関連で安定した荷動きが見込まれ、前年並みの水準は確保できる模様。

県内 普通営業倉庫の入出庫量 (月平均)



資料：静岡県倉庫協会

【1-3月期売上高】

前年同期比	10-12月期比
→	→

操業度	需給バランス	製品在庫水準	燃料価格	サービス単価	受注残
89～80%	均衡	—	上昇	横ばい	—

## 情報サービス

### 売上高は拡大基調だが、原価高騰による収益圧迫が懸念材料

【現況】



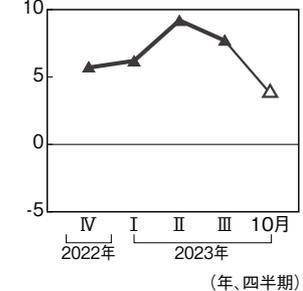
【見通し】



【10-12月期】 全国および県内の売上高は、前年をやや上回って推移した模様。既存システムの更新に加えて、新規のDX需要が活況で、SI（システムインテグレーション）案件がけん引役となった。県内も、ユーザー企業の業績改善が進んだことで、堅調な受注環境が続いた。

【1-3月期】 全国および県内の売上高は、前年をやや上回って推移する見通し。官民の旺盛なデジタル化需要の下、売上高の拡大基調は揺るがないが、物価高が重石となり、IT投資を見送るユーザーも一部見込まれる。また、ハードウェア・OS・ミドルウェアの値上げや人件費の上昇が続き、原価高騰による収益悪化が懸念される。

全国 情報サービス売上高 (前年比)



資料：経済産業省「特定サービス産業動態統計調査」

【1-3月期売上高】

前年同期比	10-12月期比
→	→

操業度	需給バランス	製品在庫水準	原材料価格	サービス価格	受注残
90%以上	需要超過	—	—	横ばい	1.0～5.0ヵ月

## 人材派遣

### 観光・小売関連がけん引、需要は底堅く推移

【現況】



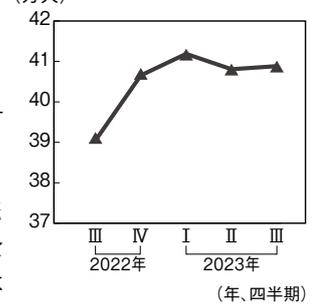
【見通し】



【10-12月期】県内の派遣社員の実稼働者総数は、前年をわずかに上回った模様。観光関連は、行楽シーズンを迎えて接客やサービスなど幅広い業務で需要が増加。百貨店の年末催事の開催なども追い風となった。一方、自治体関連は、コロナ対応の減少で引き続き縮小した。

【1-3月期】県内の派遣社員の実稼働者総数は、全体として需要は底堅く、前年並みを維持する見込み。観光・小売関連は、インバウンド需要の回復が見込め、引き続き堅調に推移。製造業も、一時的な増減はあるものの、全体としては底堅く推移するとみられる。IT関連は需要は強いが、供給制約が解消できず横ばいの見通し。

全国 派遣社員の実稼働者数 (月平均)



資料：(一社)日本人材派遣協会

【1-3月期売上高】

前年同期比 10-12月期比



稼働率	需給バランス	製品在庫水準	派遣原価	派遣単価	受注残
89~80%	均衡	—	上昇	上昇	—

## 観光・レジャー

### 国内旅行需要は堅調、花関連のイベントでの集客に期待

【現況】



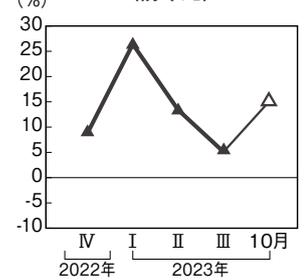
【見通し】



【10-12月期】県内主要旅館の総売上高は、前年を上回った模様。大河ドラマ効果に加え、秋の行楽シーズンに入り、シニア層を含む幅広い年代で旅行意欲が改善した。全国旅行支援終了による宿泊料金の割高感も徐々に薄らいでいるようで、年末年始の宿泊状況も堅調だった。

【1-3月期】県内主要旅館の売上高は、前年水準をやや上回る見通し。国内旅行の需要は堅調に推移するとみられ、県内では、2月の河津桜まつりや3月の浜名湖花博開幕など、花関連のイベントでの集客に期待がかかる。ただし、全国旅行支援や大河ドラマの終了の影響に加え、人手不足の問題から、大幅な改善は見込み難い。

県内 宿泊者数 (前年比)



資料：観光庁

【1-3月期売上高】

前年同期比 10-12月期比



稼働率	需給バランス	製品在庫水準	原材料価格	サービス単価	受注残
79~70%	均衡	—	上昇	上昇	—

## 外食

### 客単価の上昇に加え歓送迎会需要の復活で、売上高は前年比増

【現況】



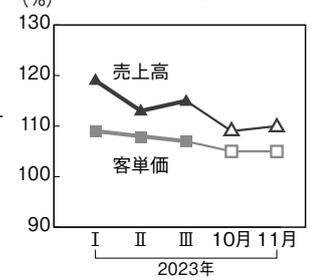
【見通し】



【10-12月期】全国および県内の主要外食店の売上高は、前年を上回った。経済活動の正常化に伴う来客数の増加に加え、昨春以降に大手チェーン店が価格改定を実施し客単価が上昇しており、売上高が増加した。ただし、燃料費や材料費、人件費の負担増大が収益改善の足かせとなった。

【1-3月期】全国および県内の主要外食店の売上高は、前年をやや上回る見通し。昨年からの値上げに加え、3月末にかけて歓送迎会需要の復活が期待され、来客数も前年比でプラスとなる模様。ただし、長引く物価高の影響で消費者の節約志向が強まっており、単価の伸びが抑制される懸念もある。

全国 外食売上高・客単価 (前年比)



資料：(一社)日本フードサービス協会

【1-3月期売上高】

前年同期比 10-12月期比



操業度	需給バランス	製品在庫水準	原材料価格	販売単価	受注残
—	均衡	—	上昇	上昇	—

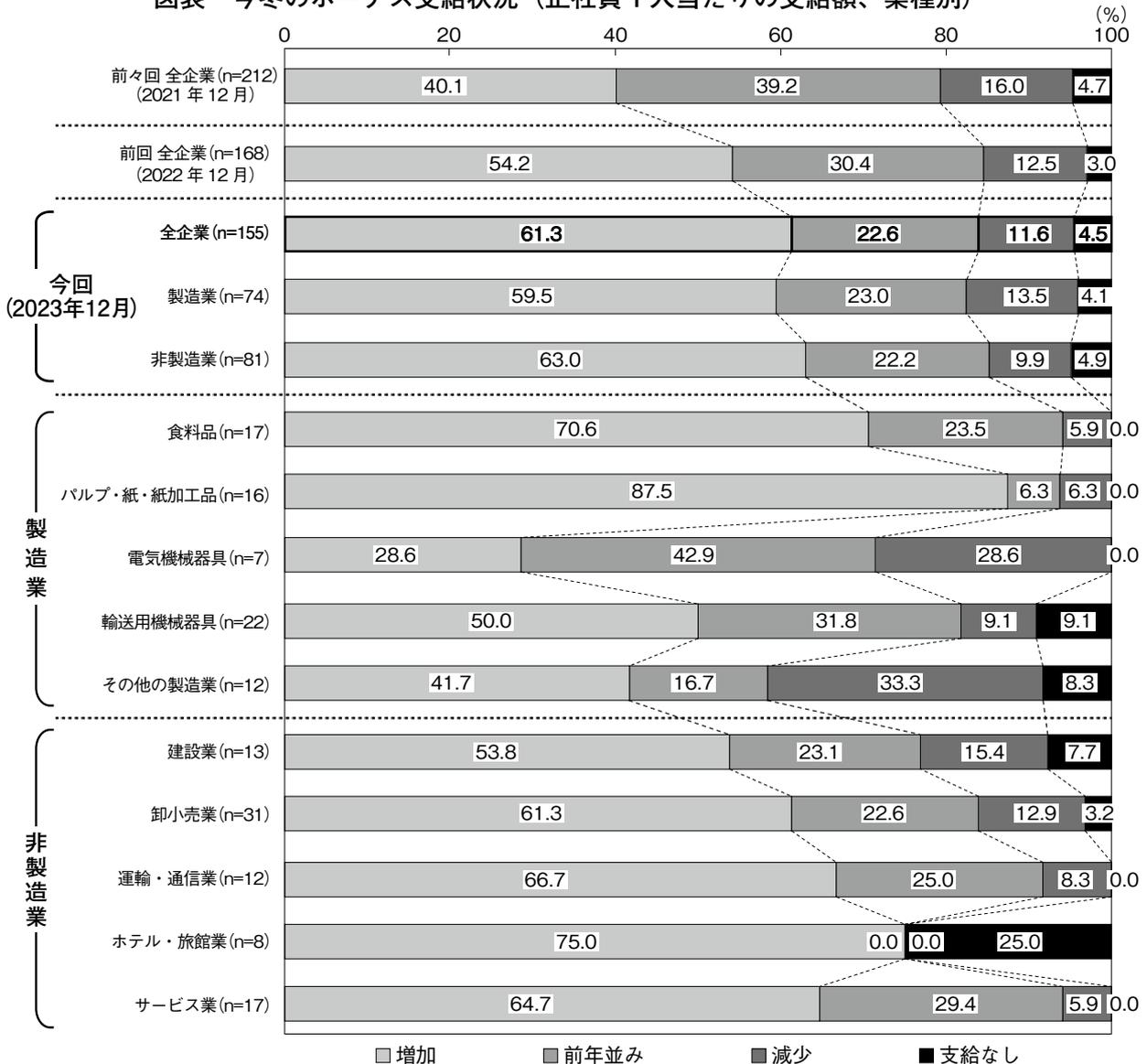
特別調査 冬のボーナス支給状況

県内企業における冬のボーナス支給は“増加”回答が6割を超える

県内企業に、今冬のボーナス支給について質問したところ、前年より「増加」させると回答した企業は61.3%と6割を超え、前年調査（2022年12月、54.2%）から、さらに+7.1ポイント上昇した（図表）。

業種別にみると、製造業では“パルプ・紙・紙加工品”で「増加」回答が8割を超えたほか、“食料品”も7割に達したが、本県主力の“輸送用機械器具”では5割にとどまった。非製造業では、需要回復が進む“ホテル・旅館業”で「増加」が75.0%と7割を超えたが、「支給なし」との回答も25.0%と他業種と比較して高く、個々の業績により対応方針が異なる様子。一方、労働需給がタイトな“運輸・通信業”や“サービス業”でもボーナスを増やそうという動きが目立つ。

図表 今冬のボーナス支給状況（正社員1人当たりの支給額、業種別）



調査要領：調査時点2023年12月、調査対象企業582社、回答社数155社、有効回答率29.4%